

坊っちゃん

第98号

編集・発行/放送大学愛媛学習センター 〒790-0826 松山市文京町3番 発行日 令和元年12月15日



台風のエネルギー

放送大学愛媛学習センター 客員教員 岡野 大

本年の4月より機会をいただき、愛媛学習センター客員教員として勤めております岡野 大（おかの だい）と申します。新任教員はこの場をお借りして簡単な自己紹介をするようなので、それに慣わせてください。

私の専門分野は、計算科学または数値解析と呼ばれます。コンピュータ等を使った計算によって様々な物事について知ること、そのことを利用して社会に貢献することを目的とした分野です。放送大学とは別に愛媛大学の情報工学科にも所属しておりますので、コンピュータ科学や情報工学についても興味があります。

すでに半年を超えて勤務させていただき、客員教員としてはどうにか無事に過ごせたように考えております。ところが、この期間には台風が次々と上陸し、全国で甚大な被害が出てしまいました。四国各地や、県内でも多くの方々が危険にさらされる事態となりました。私の生まれ育った千葉県では、インフラの損壊もあったことから未だ苦労が続く日々であると知人・友人から聞かされております。被害に遭われた全ての方が平穏な暮らしを取り戻せるまでには時間がかかると思いますが、その日が一刻も早く訪れるようお祈り申し上げます。

近年ではテレビやインターネットのニュースで現地の様子が子細に伝えられます。なかには「大地震でも津波でも無いのに大雨でこんなことになるなんて」というお話もあったようです。様々な自然災害の中で台風による大雨・強風の脅威はやや過少にとらえられる傾向があるような気がします。実は私も、子供のころに台風の到来を翌日の部活動やマラソン大会を無いことにしてくれるものと考えていたことがあります。また、大きな被害を経験するまでは地震についても同様であったかもしれません。人間が自然災害に怯えなければならないのは昔の話で、建物や街が整備されていれば特段の心配は無い、と根拠なく思い込んでいたのです。実際には、自然の活動は巨大かつ強大で人間がどうにかできるようなものではありません。そして、その中でも台風はとくに大きなものと言うことができます。

台風を含む自然災害の規模を比較した資料として国土交通省中部地方整備局が開催した会議での提言による「天変地異のエネルギー（試算値）」が度々参照されます。その詳細を確認することができないので、やや大雑把ですが簡単な計算をしてみましょう。

ここでは、台風を発生させ風雨を巻き起こした力を、その発生と活動に費やされたエネルギーで考えます。台風を太平洋の海水を吸い上げた雲の集まりと考えれば、それを作るためには海水を蒸発させ水蒸気にしてしまう必要があります。どれだけの海水が水蒸気となっていたのかを考えれば、そのエネルギーを見積ることができそうです。南の海上で発生した台風は北上しながら雨を降らせ、やがて勢力を弱らせて消滅します。その間に降った雨の総量が蒸発させられた海水の量と言えるでしょう。

仮に雨の降る面積を愛媛県がすっぽり覆われる100km四方=10¹⁰m²、1時間あたりの降水量をニュースで耳にすることの多い100mmとすれば1時間に10⁹m³の雨が降り注がれることとなります。台風の平均寿命は5.3日（1981年～2010年、気象庁による）だそうですから、少し短めですが100時間とすれば発生から消滅までに10¹¹m³真水ならおよそ1000億トンという膨大な量に達します。少々非日常的な単位になりますが、これをエネルギーに換算すると、1kgの水を蒸発させるのに必要なエネルギーは2200~2500J（ジュール）になりますので、台風1つあたりのエネルギーは2.2~2.5×10¹⁷Jと概算できます。一方で、前述の「天変地異のエネルギー（試算値）」では実際の台風（1976年の台風17号）のエネルギーを諸データから10²⁰Jと推計しているそうです。

この10¹⁷~10²⁰Jという台風のエネルギーはどの程度のものなのでしょうか。その影響を正しく比較できるものではありませんが、マグニチュード9.1とされた2011年の東北地方での大地震のエネルギーが10¹⁸J、仮に富士山が噴火した場合のエネルギーが10¹⁷Jと言われているようです。また、日本の年間の発電総量がおおよそ2×10¹⁹J、世界全体で2×10²⁰Jですから、これもまた同程度の規模のエネルギーとなります。

毎年発生する普通の台風のエネルギーは、甚大な被害を引き起こす大地震やまさに天変地異と言える火山の噴火、あるいは1年間かけて人類が作り出し消費することのできるエネルギー全体に匹敵する規模であるとも言えるのです。

机上の計算で全てを知ることにはできませんが、知識を生かしものごとを少しでも正しく評価しようとするのは大切だと思います。そのためには日々、実際の出来事にもとづいた勉強が必要なのではないでしょうか。私も放送大学の学生のみなさんとともに経験をし、勉強をさせていただきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

令和元(2019)年度
第1学期

卒業証書・学位記授与式

2019年度第1学期 放送大学愛媛学習センターでは、教養学部27名の方が卒業されました。教職員一同心よりお祝い申し上げます。



放送大学愛媛学習センターでは、10月6日(日)午前10時から、愛媛大学のメディアホールにて、令和元年度第1学期「卒業証書・学位記授与式」及び、令和元年度第2学期「入学者の集い」を実施しました。「令和」最初の卒業生を送り出す式となり、卒業生、新入生、在学生合わせて約60名が参加しました。

授与式には、教養学部卒業生27名のうち13名が出席し、加藤所長から一人ずつ卒業証書・学位記が授与されました。

卒業生代表として、「心理と教育コース」卒業の松川栄治さんから「放送大学での授業を通じて、『学ぶ面白さ』を知る機会がたくさんありました。その面白さを伝えることは教師という仕事柄、とても大切なことだと考えています。ここで身につけた知識や経験を仕事の中で生かしていきたい」と、謝辞が述べられました。

教 養 学 部

生活と福祉コース…2名	心理と教育コース…13名
社会と産業コース…4名	人間と文化コース…5名
自然と環境コース…1名	情報コース……………2名

令和元年度第2学期

入学者の集い



「入学者の集い」では加藤所長から新入生への歓迎の挨拶があり、客員教員の自己紹介がありました。続いて新入生対象のオリエンテーションと施設案内を行いました。午後からは、学友会「にぎたつ会」・愛媛同窓会共催による“愛媛学習センター学びの集い”が行われ、和気あいあいとした雰囲気の中で新入生・卒業生・在学生・教職員が親睦を深めました。

施設案内や学習方法などの相談は随時行っています。お気軽に学習センター窓口へお越しください。



特別表彰について

愛媛学習センターでは、教養学部の3つ以上のコース（または専攻）を卒業された方々に対して、長年にわたり高い学習意欲を持ち続け快挙を達成したことを顕彰するため、卒業証書・学位記授与の後に引き続いて「特別表彰」を行っています。

令和元年度第1学期の特別表彰者は6名でした。

特別表彰



名誉学生
米澤 千尋さん

特別表彰者の内、米澤千尋さんは6回目の卒業となり、放送大学教養学部の全てのコースを卒業されました。愛媛学習センター2人目の「名誉学生」誕生となります。おめでとうございます。

特別表彰

5回目卒業 加藤 経子さん
4回目卒業 松井 昌子さん
3回目卒業 明関 幸さん
宇野 綾子さん
松本 弘子さん

卒業証書・学位記授与式に参加して

卒業生のことば

学位記授与式に参加させていただき、本当に卒業できたのだと実感することができました。卒業するまでに5年半かかりましたが、先生方や家族の支えがあったのことに感謝しています。ありがとうございます。
(30代・男性)

定年退職後に放送大学に入学して目標ある生活ができることの“幸せ”を感じています。放送大学との出会いに感謝です。
(60代・女性)

夫や子どもたちも、家のことを手伝ってくれ、仕事をしながらも2年（3年次編入）で卒業でき、卒業式にも出席でき、とても嬉しいです。次に別の学士を目指し入学したので卒業後、その学士が取れるようがんばっていきたいと思います。
(30代・女性)

ご卒業、おめでとうございます

私は平成20年4月に入学し現在に至っています。今回で2度目の卒業となりました。勉学は趣味の一つだと思っており、認知症予防の為とも思って頑張っています。毎日、を大切に、今日の人生と思って生きています。
(70代・男性)

意外にも顔なじみの方が2人も卒業生の中において、とても嬉しくなりました。加藤センター長の祝辞の中、茂木さんのお話は心に響きました。生きがいを求め、また新しいスタートラインに立ったのですね。
(60代・女性)

最初は、学習を続けられるか心配でしたが、周りの人達に支えられ、卒業ができたことを嬉しく思います。在学中に頂いたパワーを今度は私が分けてあげられたらいいと思います。
(40代・女性)

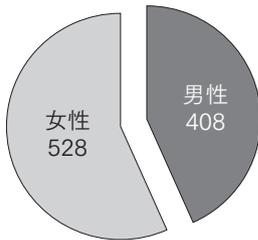


令和元年度 第2学期在籍者概要

在籍学生数

	合計	学 生 区 分										
		教 養 学 部					大 学 院					博士
		全科	選科	科目	特別聴講生	計	全科	選科	科目	特別聴講生	計	全科
全国学習センター(57)	86,434	56,405	16,011	6,342	3,260	82,018	958	2,917	497	2	4,356	60
愛媛学習センター	936	692	140	63	4	899	5	27	4	0	36	1

男女別データ



人気科目ランキング

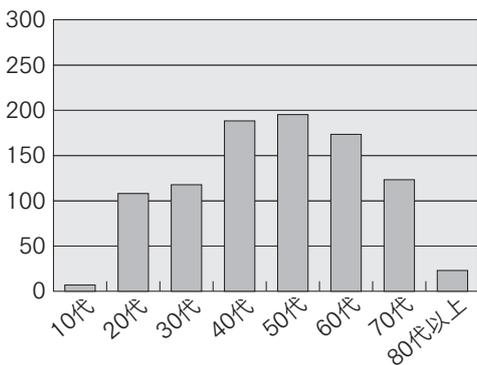
◆教養学部

①英語事始め('17)	46人
②今日のメンタルヘルス('19)	38人
③食と健康('18)	33人
④心理臨床の基礎('14)	30人
⑤心理学概論('18)	29人

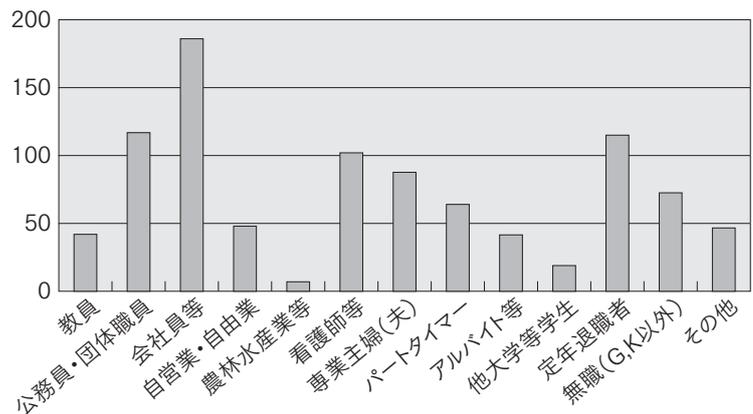
◆大学院

①幼児理解の理論及び方法('15)	8人
教養で読む英語('19)	7人
②生涯学習を考える('17)	
フィールドワークと民族誌('17)	6人
③情報ネットワーク('18)	

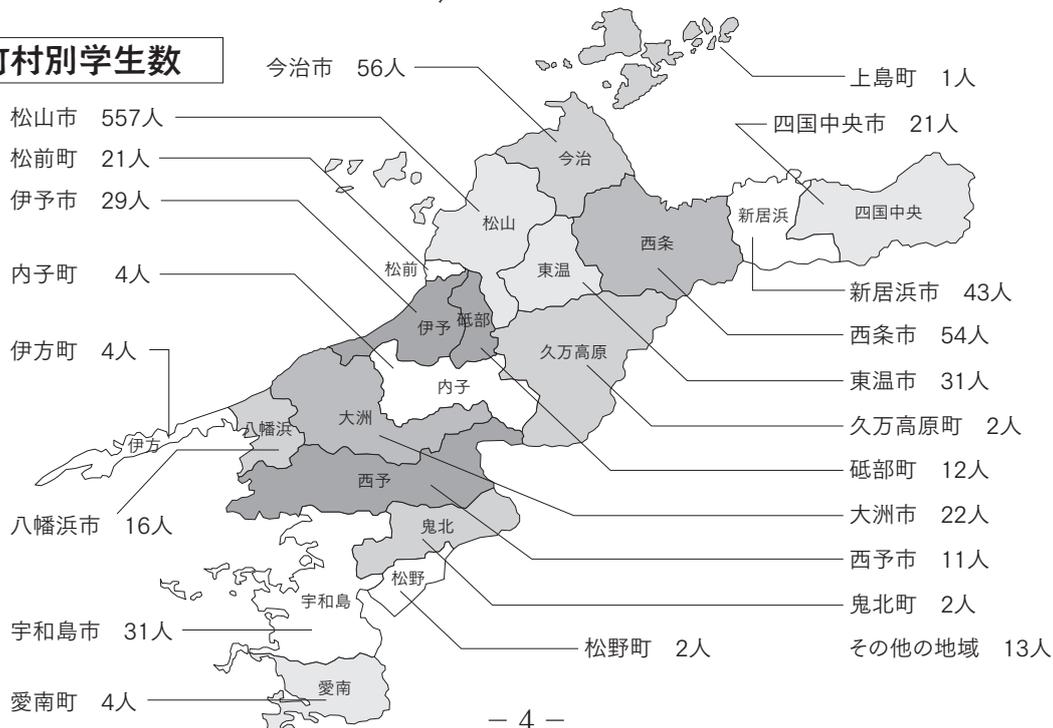
年代別データ



職業別データ



市町村別学生数





視聴学習・図書室からのお知らせ



年末・年始の閉室について

下記の期間は閉室となります。

閉室日：12月29日(日) ～ 2020年1月3日(金)

※12月28日(土)は大掃除のため午後より閉室とさせていただきます。(開室時間は9:30～12:00まで)

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



単位認定試験に伴うお知らせ

★試験期間中は、開室時間が変更になります。

試験期間中【1月21日(火)～1月30日(木)】		通常時 (2019年度)
火曜日～金曜日	9:00 ～ 19:00	10:00～18:30
土曜日・日曜日		9:30～18:00



臨時閉所日：1月24日(金)・1月31日(金)・2月4日(火)

※毎週月曜日は閉所日です。

単位認定試験問題・解答の公表について

- 図書室では過去1年分の単位認定試験問題と解答を配架しています。それ以前のは閲覧できません。
(現在は2018年度2学期・2019年度1学期分)
- 室内で自由に閲覧できますが、コピーすることはできません。
(デジカメ等で写真を撮ることは可。)
- システムWAKABAからも閲覧することができます。学習センターの学生パソコンから問題・解答を印刷することは禁止しています。
(USBメモリに保存して持ち帰ることは可。)



本部図書の貸出・返却および文献複写の受付について

本部図書の貸出・返却および文献複写の受付は、**閉室時刻30分前までで終了いたします。**
所定の時刻までに受付を済ませて下さい。

- 火～金
18:00まで(通常時)
- 土・日
17:30まで(通常時)

※所定時刻を過ぎると受付が出来なくなりますのでご注意下さい。



事務室からのお知らせ

通信指導の結果の送付

【通信指導添削結果送付時期】12月末～1月上旬

単位認定試験について

【2019年度第2学期単位認定試験日程、試験期間中の開所・閉所日】

1/21(火)	1/22(水)	1/23(木)	1/24(金)	1/25(土)	1/26(日)	1/27(月)	1/28(火)	1/29(水)	1/30(木)	1/31(金)
大学院	大学院	学部	臨時閉所	学部	学部	閉所	学部	学部	学部	臨時閉所

※単位認定試験期間の開所時間：9:00～19:00

【臨時閉所日】 1月24日(金)、1月31日(金)、2月4日(火)は臨時閉所といたします。ご注意ください。

【受験票送付時期】

1月中旬（試験日の1週間前までに受験票を送付します。）

※1月14日(火)までに届かない場合は大学本部(TEL:043-276-5111(総合受付))に連絡してください。

【持参物】

○受験票 ○学生証 ○HBの鉛筆(シャープペンシルは不可)・消しゴム

○持ち込み許可物品：必携指定のあるもの(印刷教材、電卓、辞書など)

受験票送付時に通知されます。また試験の約1ヶ月前に学習センターへ掲示し、システムWAKABAでも確認することができます。

※学習センターでは、持ち込み許可物品の貸し出しはできません。

【成績】

試験結果は、2月下旬に「成績通知書」によって通知します。なお、システムWAKABAでも確認することができます。

【再試験】

今学期(2019年度第2学期)、新規に科目登録した科目については、次の学期(2020年度第1学期)に学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)、次の学期に科目登録をしなくても再試験を受験できます(再試験の授業料等はこちらではありません)。ただし、単位認定試験を行わないオンライン授業については再試験はありません(一部科目を除く)。

【単位認定試験問題・解答等の公表】

今学期の試験問題は2月上旬に公表予定です。解答は2月下旬に、主任講師の了承があった科目のみ公表します。試験問題及び解答等は、過去1年分をシステムWAKABA(「学内リンク」から遷移)、愛媛学習センター視聴学習図書室で閲覧できます(詳しくは「P5 視聴学習・図書室からのお知らせ」をご参照ください)。放送大学本部にて郵送サービスも行っておりますので学生生活の葉(学部P77～、院P72～)をご確認ください。

【駐車場】

1月25日(土)・26日(日)は**立体駐車場を利用できます。時間帯8:30～19:00**

2020年度第1学期にむけて必要な手続きについて

次学期の継続入学・科目登録のため、対象の方には1月中旬に大学本部から各要項が届きます。

◆2020年4月以降も引き続き学籍のある方

【科目登録】

次学期に学習する科目を選択し、郵送(科目登録申請票を送付)またはシステムWAKABA(インターネット)で登録申請を行ってください。

●申請期間 郵送：2020年2月13日(木)～2月28日(金) 本部必着

Web：2020年2月13日(木)9時～2月29日(土)24時

※Webの場合は、システムWAKABA「教務情報→科目登録申請」から手続きができます。

◆2020年3月末で学籍が切れる方

【継続入学の手続き】

引き続き継続して入学を希望される場合は、郵送(継続入学用出願票を送付)、またはシステムWAKABA(インターネット)で出願してください。

●出願締め切り 第1回 郵送：2020年2月29日(土) 本部必着

Web：2020年2月29日(土)24時

第2回 郵送：2020年3月17日(火) 本部必着

Web：2020年3月17日(火)17時

◆今学期卒業見込みの方

①【科目登録】 今学期末で卒業できなかった方で、次学期も学籍がある場合。

②【継続入学】 a. 今学期末で卒業できなかった方で、次学期に学籍がない場合。

b. 今学期末で卒業される方で、引き続き放送大学で学習を続ける場合。

◆継続入学する方が学期当初から面接授業の科目登録をする場合

教養学部への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される場合は、科目登録申請期間中(2020年2月13日(木)9時～2月29日(土)24時)にシステムWAKABA「教務情報→継続入学申請」から出願を行う必要があります。

※学期当初からの面接授業の科目登録申請は、郵送での受付はありません。

新 任 挨 拶



三瀬 雅子

10月から愛媛学習センターで勤務することになりました。

主に面接授業や公開講演会を担当しております。

こちらで働き始めて以来、学生みなさまの学びに対する意欲や熱意に日々感じています。その影響なのか、「わたしも何か新しく始めてみたい」と思う気持ちが出てきました。

まだ何をするかは決まっていますが、ゆっくり考えてみたいと思います。

微力ながら、みなさまのお役に立てるよう努めて参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

令和2年4月1日(水)から

開所時間が変わります

【現 行】

期 間	月	火	水	木	金	土	日	
通 常 期	閉 所	10時から18時30分まで					9時30分から 18時まで	
単 位 認 定 試 験 期 間 中		9時から19時まで						

【令和2年4月1日(水)以降】

期 間	月	火	水	木	金	土	日
通 常 期	閉 所	9時30分から18時まで					
単 位 認 定 試 験 期 間 中		9時から19時まで					

令和2年4月から

卒業証書・学位記授与式、 入学者の集い開催時間を変更します

これまで午前10時から卒業証書・学位記授与式を、それに続いて入学者の集いを開催して参りましたが、遠隔地から出席する学生の便宜等を考慮し、午後の開催といたします。

詳細なスケジュール等は、令和2年3月発行の「坊ちゃん」でお知らせします。

公開講演会

※公開講演会は、先生の講義を聴く絶好のチャンスです。

※どなたでも自由に参加できます(予約不要)。

① 13:00 ~ 14:30 ② 15:00 ~ 16:30

日 程	担当講師	分 野	講 義 題 目
2月8日(土)	①小林 範之	農業土木学・地盤工学	気象 ～基本のき～
	②平松 義樹	学力論・授業論・生徒指導論	人間理解のための科学④
2月15日(土)	①岡野 大	数値解析・計算科学	ロジカルシンキング入門
	②加藤 好文	アメリカ文学・文化	アメリカ文学と都市・ドライバーとアンダスンを中心に
2月22日(土)	①平松 義樹	学力論・授業論・生徒指導論	人間理解のための科学⑤
	②渡部 保夫	生化学・食品化学	ヒトと自然との関係(食品の安全性と食品の保存)

2019年度 学生研修旅行レポート 愛媛学習センター

【日 程】 11月13日(水) 8時20分～18時

【行 程】 愛媛大学正門発 ～ ①愛媛大学紙産業イノベーションセンター(講演)～
②紙のまち資料館(体験・見学)～ 愛媛大学正門帰着

【参加者】 27人(在学生24人、引率者3人)

【研修先・研修内容】

①愛媛大学紙産業イノベーションセンター(四国中央市)

愛媛県東予地方の四国中央市にある「愛媛大学紙産業イノベーションセンター」を訪問し、同センター長による「お札の技術と新たな紙製品開発の可能性」と題した講演(実験・グループワークを含む。)を実施し、お札に使われている技術を勉強するとともに、最新の紙製品の開発事情や、また、紙製品の新たな可能性について学ぶことにより、紙製品出荷額全国1位の紙のまちとして知られている四国中央市の紙産業について理解を深める。

②紙のまち資料館(四国中央市)

同市にある「紙のまち資料館」を訪問し、歴史ある紙のまち四国中央市の紙の文化と歴史を学ぶとともに、手すき和紙作りを体験する。併せて参加する学生・教職員の交流を図る。

【研修内容】

①愛媛大学紙産業イノベーションセンター

最初の研修先の愛媛大学紙産業イノベーションセンターでは、内村センター長から、「お札の技術と新たな紙製品開発の可能性」と題した講演があり、「1. お札について」、「2. 身近な紙製品って?」、「3. 紙の機能について(実験)」、「4. おもしろい紙を発明しよう!」、「5. 大学での研究開発の取り組み」についてお話がありました。

「1. お札について」では、以前勤務されていた印刷局でのお札の偽造防止技術の苦労話があり、あまり知られていない様々な工夫について、臨場感をもった講演となり、参加学生も大いに刺激を受けていました。

また、「5. 大学での研究開発の取り組み」では、セルロースナノファイバー(CNF)による各産業分野への展開に向けた開発展望のお話があり、紙製品の奥深さについて、更に関心が高まりました。2時間の講演でしたが、参加学生からは期待以上の内容だったとの感想がありました。



実験風景

②紙のまち資料館

2番目の研修先である「紙のまち資料館」では、手すき和紙作りの体験を行うとともに、資料館の見学を行いました。

はじめに資料館の担当者の方から手すき和紙作りの工程の説明があり、参加学生それぞれが、説明された工程に沿って世界で1つのハガキ作りに挑戦していました。



手すき和紙作り風景

今回の研修は、研修先のスタッフの懇切丁寧な対応と参加者の皆様のご協力により充実したものとなりました。アンケート調査を通じていただいたご意見なども参考に、今後より魅力ある研修旅行を提案して参りたいと思います。最後になりましたが、学生研修旅行の企画に御協力くださった関係者の方々に感謝申し上げます。

にぎたつ会からのお知らせ

とべ動物園研修会



今年は異常気象にも見舞われ行事も大変でしたが9月29日(日)晴天の中、5月の総会で特別講演会を行っていただいたとべ動物園前園長の田村さんがガイドを務めて頂き、動物の食事をテーマに普段見学ができない場所を沢山説明してもらいました。昨年から3回目でしたが回を重ねるごとにバージョンアップしております。研修旅行も全てガイド付きで勉強半分、楽しさ半分でこれからも企画して行きます。

学友会「にぎたつ会」は学生のための団体です。これからもよろしくお願いします。

学友会「にぎたつ会」加幡秀樹

同窓会便り

●参加者募集

1. 折り紙教室

毎月第3火曜日13時30分～教材準備室（令和2年1月は試験のためお休みです。）

詳細は、センターHP <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/ehime>、又は、愛媛学習センター 電話089-923-8544又は行事担当役員(友近)080-4037-4196までお問い合わせ下さい。

2. 東予地区交流会

令和2年2月2日(日)大学の「特別講座」を利用して、開催します。詳細はHPをご覧ください。

●行事報告

1. 「グルメ満喫！伊予灘物語と鵜飼い観賞」を

9月1日(日)に実施しました。

《折り紙教室》

8月、9月、10月はポチ袋、鶴のカップル。
11月ピエロ、12月正月飾りです。



●クイズ (問題)

Q1：松山城にいろんなところにハートをあしらったデザインがあります。

一般言われるハートマークは明治に入ってから西洋から入って来ました。では、松山城のハートマークは何なのでしょう？

古切手・ベルマークの収集箱を学生交流スペースに設置しました。ご協力をお願いします。



1月・2月・3月 教務スケジュール



1月

月	火	水	木	金	土	日
		①	②	③	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝

○印…閉所日(月曜・祝日・臨時閉所日)

□印…面接授業

■印…単位認定試験(大学院)

□印…単位認定試験(学部)

●年末年始のお休み 12月29日(日)～1月3日(金)

●臨時閉所日 1月24日(金)・1月31日(金)
2月4日(火)

●面接授業 1月11日(土)・12日(日)

① 法的トラブルとその解決手続

② トマトの園芸学

●単位認定試験【大学院】1月21日(火)～1月22日(水)

【教養学部】1月23日(木)

1月25日(土)～1月26日(日)

1月28日(火)～1月30日(木)

●単位認定試験成績通知 2月下旬

●令和2年度第1学期科目登録申請期間

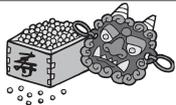
〔郵送による申請〕

2月13日(木)～2月28日(金) 大学本部必着

〔システムWAKABAによる申請〕

2月13日(木)9:00～2月29日(土)24:00

※詳細は科目登録申請要項でご確認ください。



2月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
③	④	5	6	7	8	9
⑩	⑪	12	13	14	15	16
⑬	18	19	20	21	22	㉓
㉔	25	26	27	28	29	



3月

月	火	水	木	金	土	日
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	11	12	13	14	15
⑬	17	18	19	㉒	21	22
㉓	24	25	26	27	28	29
㉔	31					

令和元年度 学位記授与式・祝賀パーティー
(東京・NHKホール) 3月21日(土)13:00～

愛媛学習センターでの
学位記授与式・入学者の集い 4月5日(日)

愛媛大学教職員作品展に出展しました!

第24回愛媛大学教職員作品展(11月21日(木)~11月25日(月))に、
放送大学学生の

小西 光子さん(全科生) 彫塑 (作品名:「小面」)

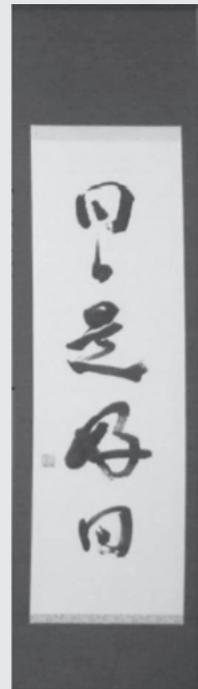
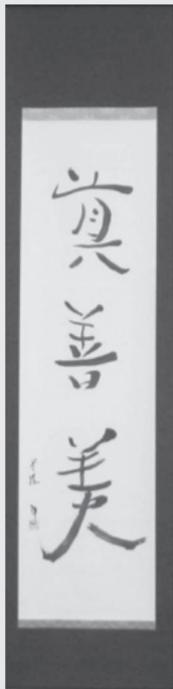
田中 運生さん(全科生) 書道 (作品名:「日々是好日」)

藤森美枝子さん(全科生) 書道 (作品名:「真善美」)

渡邊 健二さん(全科生) 洋画 (作品名:「うつつ」、「フェイク」)

の4名の方が作品を出展されました。

それぞれの作者の方々の感性あふれる作品が展示され、来場された方々が熱心に見入っていました。ご協力いただき、ありがとうございました。



編 集 後 記

令和元年もいよいよ年の瀬です。

改元にもなう行事やラグビーのワールドカップなど、

珍しい催しがたくさんありました。

そして令和2年度! いよいよ東京オリンピックが開催されます。

なんとかか一種目だけでも生で観戦してみたいものです。

令和2年度4月から愛媛学習センターの開所時間が変更(P8参照)となります。

学生の皆さまにはご不便をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

